◇化学療法と副作用対策

本来、お薬を使った治療を化学療法といいますが、現在では、抗悪性腫瘍剤(抗がん剤)を用いて行うがんの治療を手術療法・放射線療法などと並べて化学療法と呼びます。化学療法で使われる抗悪性腫瘍剤の中には、発熱、吐き気、便秘などの副作用が現れるものがあります。副作用の多くは治療の翌日以降に現れるため、ご自宅での突然の症状に戸惑われることが考えられます。突然の副作用にも対応できるよう、また頻度の少ない副作用の発現におびえぬよう、ご自身が受けられている治療で現れる副作用の以下の特徴を事前に知っておく必要があります。

①注意すべき副作用は何があるのか
②いつ、どの様な症状が現れるのか
③どの様な対応をすればよいのか（お薬を飲む、安静にする、医療機関に連絡するなど）

この用紙には吐き気・発熱・下痢・口内炎に対して予めお渡しするお薬について書いてあります。
その他の副作用や副作用の発現時期、自覚症状などについては、別紙をお読みください。

◇副作用対策に使われるお薬の紹介

□吐き気・嘔吐がおきた時に使うお薬

・吐き気・嘔吐があらわれた時にお使いください。
・治療を開始したその日から使うことができます。

お薬の名前（成分名）	1回量	備考
ノバミン®5mg錠 （プロクロルペラジン） 【14回分】	1錠	・1日3回まで服用できます。 ・錐体外路障害（そわそわする、足が浮くような感じがするなど）が現れましたら服用を止め、ご連絡ください。
アルプラゾラム0.4mg錠 （アルプラゾラム） 【14回分】	1錠	・1日3回まで服用できます。 ・服用により、眠気がでることもあります。 ・不安を和らげる効果もあります。

□発熱時のお薬

・白血球数の低下により免疫力が落ちているとき（点滴した7日目以降）におこりやすい発熱性好中球減少症や敗血症といった重篤な感染症を防ぐために飲むお薬です。

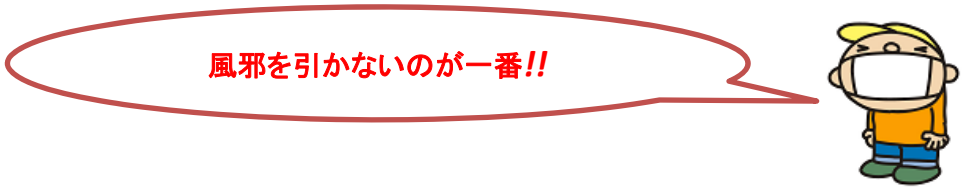
・38度以上の熱が出たときに飲み始めてください。

お薬の名前（成分名）	1日1回 医師の指示通り	備考
発熱時には必ずお飲みください ［抗生物質］ レボフロキサシン500mg錠 （レボフロキサシン） 【7日分】	1錠	**※体の中の原因菌を殺して感染症を治療するお薬です。** ・飲み始めたら熱が下がっても、7日間必ず飲み続けてください。 ・マグラックス®、酸化マグネシウムを服用する際は、レボフロキサシン®内服後2時間以上あけて服用してください。

お薬の名前（成分名）	1回量	備考
熱が出てつらい時のみ服用してください ［解熱薬］ カロナール®200mg錠 （アセトアミノフェン） 【10回分】	2錠	・1日4回まで6時間おきに服用できます。 ・熱が出てつらい時に服用してください。 ・筋肉痛などの痛みを抑える効果もあります。

《感染症にかからないための予防対策》

1．ご自身やご家族の日頃からの手洗い、うがいを心がける。
2．外出時は、マスクをつける。
3．歯磨きや定期的に体を洗うなど清潔にするように心掛ける。



□口内炎時のお薬

・抗がん剤による口内炎を和らげるために使うお薬です。
・必ず口の中を清潔にしてから使用してください。

お薬の名前（成分名）	朝	昼	夕	備考
［うがい薬］ 含嗽用ハチアズレ®顆粒2g （アズレンスルホン酸Na、炭酸水素Na含嗽剤） 【30回分】	1包	1包	1包	・お口の中の腫れを和らげるお薬です。 ・およそ100mLの水またはぬるま湯に溶かして、うがいしてください。 ・口の中を清潔にしてから使用して下さい。

お薬の名前（成分名）	1回量	備考
ケナログ®口腔用軟膏 （トリアムシノロンアセトニド軟膏）	適量	・塗るとボソボソとした感じがするお薬です。 ・お口をきれいにし、うがいをした後に塗る部位を少し乾燥させてから綿棒を使って、厚くならないように使用して下さい。 ・毎食後に行うことで長い時間、塗っておくことができます。

□下痢がおきた時に使うお薬

・抗がん剤による下痢に伴う脱水症状を防ぐためのに飲むお薬です。
・1日に4回以上トイレに行く、もしくは便が水っぽい場合に飲み始めてください。

お薬の名前（成分名）	1回量	備考
ロペラミド1mg錠 【カプセル】 （ロペラミド塩酸塩） 【10回分】	2錠	・下痢がはじまったら内服を開始し、その後は6時間おきに服用して下さい。 ・12時間以上、下痢が治まったら飲むのを止めてください。

□便秘がおきた時に使うお薬

お薬の名前（成分名）	朝食後	昼食後	夕食後	備考
マグラックス®330mg錠 （酸化マグネシウム） 【21日分】	1錠	1錠	1錠	・便を柔らかくするお薬です。 ・お通じの状態によって、適宜服用回数を調節してください ・下痢になった場合は、中止して下さい。 ・レボフロキサシンを服用する際は、レボフロキサシン内服後2時間以上あけて服用してください。

マグラックス® 330mg錠のみではうまくお通じのコントロールができない場合は、以下のお薬をお使いください。

お薬の名前（成分名）	1回量	備考
センノシド12mg錠 （センノシドA・B） 【10回分】	2錠	・おなかを動かしてお通じを促すお薬です。 ・眠前に服用してください。

※このパンフレットには、当院で採用しているお薬の名前が書かれています。調剤薬局で受け取ったお薬の名前と異なる場合がありますが、お薬の成分・効果は同じです。
調剤薬局の薬剤師にもご確認ください。

困ったことがあった時はご連絡ください

例えば…
- 抗生剤・解熱剤を服用しているが、38度以上の発熱が2日以上続いている
- 水の様な便が1日に5回以上あり止まらない
- 吐き気が強く、食事や水分が全く摂れない
- 痛くてつらい

など

連絡方法

病院代表）044-977-8111に電話をかける

↓

電話交換手が出ます

平日 8：30～17：00
第2,4,5土曜日 8：30～12：30

↓

電話交換手に「腫瘍センターナースステーションにつないで下さい。」と伝えて下さい。

↓

看護師が出たら、名前と診察券番号を伝えてから相談して下さい。

夜間帯・休診日

↓

電話交換手に「受診されている科の当直医につないで下さい。」と伝えて下さい。（呼吸器外科の方は8階西病棟を指定して下さい。）

↓

当直医が出たら、名前と診察券番号を伝えてから相談して下さい。

※予約外受診の方法

病院本館正面玄関を入って右側にある「②再診受付」または「予約外受付機」で手続き後、各科外来でお待ち下さい。

（受付時間　　平日8：30～11：30　　第2,4,5土曜日8：30～11：00）

聖マリアンナ医科大学病院　腫瘍センター

薬剤師	看護師